

平成 20 年 5 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 北都銀行  
代表者名 取締役頭取 加賀谷 武夫  
問合せ先 総合企画部長 富岡 行介

平成 20 年 3 月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 26 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 20 年 3 月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期の業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

【単体】 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,800	1,900	1,200
今回修正予想 (B)	28,500	600	20
増減額 (B - A)	300	1,300	1,180
増減率 (%)	1.0	68.4	98.3
〔ご参考〕前期実績(19年3月期)	29,529	459	577

【連結】 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	31,000	1,900	1,200
今回修正予想 (B)	30,600	400	60
増減額 (B - A)	400	1,500	1,260
増減率 (%)	1.3	78.9	105.0
〔ご参考〕前期実績(19年3月期)	31,356	109	356

2. 配当予想の修正

	1 株当たり年間配当金		
	中 間	期 末	
前回発表予想 (平成 19 年 11 月 26 日発表)	2 円 50 銭	2 円 50 銭	5 円 00 銭
今回修正予想	2 円 50 銭	0 円 00 銭	2 円 50 銭
〔ご参考〕前期実績(19年3月期)	-	5 円 00 銭	5 円 00 銭

### 3. 修正の理由

#### (1) 単体業績予想及び配当予想の修正

平成 20 年 3 月期の経常収益は、貸出金利息や有価証券利息の減少により、前回予想比 3 億円減少の 285 億円となる見通しです。

また、仕組貸出に係るデリバティブ部分の時価評価による評価損、株式市場低迷に伴う株式売却損により、経常利益は前回予想比 13 億円減少の 6 億円、当期純利益も同 11 億 8 千万円減少の 2 千万円となる見通しです。

期末配当につきましては、株式等の相場下落に伴い保有有価証券の評価損が拡大し、配当金分配可能額が確保できなかったことから、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたいと存じます。

#### (2) 連結業績予想の修正

単体業績予想の修正および連結子会社の与信関連費用の増加に伴い、前回予想に比べ減少の見通しとなっております。

#### (ご参考) 平成 20 年 3 月期の自己資本比率

	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	前期比
単体自己資本比率	9.11%	5.58%	3.53%
Tier I	26,888	13,889	12,999
Tier II	16,944	11,715	5,229
自己資本額	43,833	25,604	18,229
リスクアセット	480,664	458,730	21,934

	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	前期比
連結自己資本比率	9.41%	6.11%	3.30%

平成 20 年 3 月期の単体自己資本比率は、株式等の相場下落に伴い保有有価証券の評価損が 127 億 92 百万円に拡大したことによる Tier I の減少や、Tier II の劣後債算入限度額の減少により、前期比 3.53%低下の 5.58%となりました。

以上